

授業の概要

歯の欠損に伴う咀嚼，発音などの機能低下の回復と顔貌の回復をはかるとともに，残存歯，顎粘膜および顎関節などを保護し，正常に回復された口腔状態を永続させるために必要な部分床義歯を知る上での重要な基礎知識である構成要素や義歯床について理解する。

- 教科書：最新歯科技工士教本 有床義歯技工学（医歯薬出版）
- 授業時間：火曜日 18：00～18：45
- オフィスアワー：大谷 賢二 (ootani.kenji@nihon-u.ac.jp) 火曜日 17：00～17：45
- 成績評価：前期定期試験(50%)，後期は定期試験(50%)で評価する。平常試験後に解説を行いフィードバックする。
- 注意事項：講義時に教科書と配付プリントを持参すること。
- 授業方法：教科書に沿った内容のスライドとプリントを使用して講義を行う。
- 準備学習：事前に講義内容を教科書で確認しておくこと。平常試験を実施するので復習すること。
- 準備学習時間：予習と復習それぞれに講義時間相当の時間を充てること。
- 実務経験：大谷賢二：現在，日本大学歯学部歯科補綴学第Ⅱ講座に在籍しており，歯科医師としての臨床経験をもとに部分床義歯の役割や基本知識を説明することで，理解の向上に繋がると考える。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回5月14日 大谷 賢二	1. 部分床義歯の構成要素 1) 連結子 (教) pp147-154	<ul style="list-style-type: none"> ・部分床義歯の構成要素について説明できる。 ・連結子の種類，役割および機能について説明できる。
第2回5月21日 大谷 賢二	2) 義歯床 3) 人工歯 4) 支台装置（1） (教) pp154-157 pp201, 202 pp115-137	<ul style="list-style-type: none"> ・義歯床の役割と辺縁形態，緩衝腔について説明できる。 ・人工歯の種類と役割について説明できる。 ・支台装置の基本的な機能について説明できる。
第3回6月11日 大谷 賢二	4) 支台装置（2） 2. オーバーデンチャー (教) pp137-146 pp250-253	<ul style="list-style-type: none"> ・アタッチメントの種類と機能について説明できる。 ・オーバーデンチャーの機能について理解する。
第4回6月25日 大谷 賢二	3. 金属床義歯 (教) pp254-271	<ul style="list-style-type: none"> ・金属床義歯の構造および利点と欠点について説明できる。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第5回7月9日 大谷 賢二	4. 装置の製作 5. クラスプの製作 6. バーの製作 (教) pp173-193 pp194-200	<ul style="list-style-type: none"> • クラスプの製作方法について説明できる。 • バーの製作について説明できる。
第6回7月23日 大谷 賢二	7. 修理 (教) pp232-243	<ul style="list-style-type: none"> • 破折と破損の原因を列挙できる。 • 修理方法を説明できる。
第7回7月30日 大谷 賢二	8. 総合講義	<ul style="list-style-type: none"> • 第1回から第6回の講義内容について理解度を確認する。